

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

HTMLとCSSの使い方について理解するとともに、HTMLとCSSを活用した情報デザインに配慮したWebページ作成を通して、問題解決のためのプロセス（PDCAサイクル）をコンテンツ作成に生かそうとする態度を身に付けさせる。

評価規準

【知識・技能】 情報デザインの考え方や方法について身に付けている。HTMLやCSSの使い方について理解している。

【思考・判断・表現】 目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考えている。コンテンツの設計、制作、実行、評価、改善ができる。

【主体的に学習に取り組む態度】 各授業及び一連の活動を振り返ることを通して、自らの学習を調整しようとしている。

主体的・対話的で深い学び，探究的な学び，個別最適な学び，協働的な学び

Webページについて
企画・設計等

HTML・CSSについて

Webページの
作成・評価・改善・発表

振り返り・自己評価

各班（4人）に分かれて、Webページを作成【2時間】

1. 班内で、作成する担当を決め、個人で役割部分について作成する。
 - ・役割を分担することにより、各メンバーが責任を持つ範囲を明確にし、効率を向上させるとともに、チーム内の協力と連携を促進させる。
2. 個々で作成したWebページを一つにまとめる。
 - ・どのように作成したか他者の考えや意見を尊重しながら各班で確認する。
3. Webページを評価、改善する。
 - ・共通の目標に向かって協力し、より効果的に作品を完成させる。
4. Webページ作成時、工夫したことや苦労したことなどを発表し、クラス全体で成果を共有する。

【高等学校「情報Ⅰ」 情報デザイン Webページと情報デザイン】①

【図①：個人で担当部分を作成】



【図②：成果物の発表の様子】



CSSを用いてHTML文書を装飾することを通して、情報デザインの考え方や手法について理解する。

※コードを変更する際、必ず新規ファイルで保存するよう指導

1. Webページの作成

- ・元になるHTMLファイルを全員に配布
※成果物の違いを比較するため同じものを配布
- ・各班のテーマや班員の役割を決定
- ・個人で担当部分を作成（図①）
※spanタグの利用
- ・個々で作成したデータを一つにまとめる

2. Webページの評価

- ・情報デザインに着目して修正点を洗い出す
- ・出てきた意見や考えを記録する

3. Webページの改善

- ・改善点に優先順位をつける
※やらないことを決める

4. Webページの発表

- ・各班の成果物を比較、評価（図②）

【評価方法】机間指導・成果物、振り返りシート

多くの生徒にとってプログラムのコードを記述する初めの機会であり、後に学習するプログラミングに対して苦手意識が芽生えないように、丁寧に授業を展開していた。学習目標である「CSSを用いてHTML文書を装飾することを通して、情報デザインの考え方や手法について理解する」という生徒の姿が見られた。分からないことは検索したり、生徒同士や先生に聞いたりするなど、生徒に合った学びが行われていたことは評価できる。さらに、元になるHTMLファイルを限定することで、各班の成果物の比較が容易となり、班内での積極的な意見交流や相互評価が行われ、成果物の改善につながっていた。

思考を広げたり理解が深まったりする発問や、機会を捉えて思考を整理するためのまとめを行っていることも評価できる。

学習活動の振り返りでは、Microsoft Formsを活用しており、生徒が自らの学習を調整しようとする習慣を身に付けられるようにしていた。